

11月に入りました。いよいよ本論編が開講します。すべては来年8月末の試験合格のための講座です。山下クラスは試験に挑戦するクラスです。山下クラスは、互いに受験生として同じ目標に向かい努力し互いの学力向上を刺激するクラスです。

- ① 全員の目標は合格です。
- ② 互いを刺激することで向上する
- ③ 山下は皆さんのコーチです。

学習アドバイスは気軽に読んでください。皆さんの受験勉強の参考になる話や、私の人生観やつぶやきコメントも記載します。

■初めての学習の方

まずは楽しく学びましょう。勉強は喜びです。知識を学び方法を知れば人生は大きく変わります。山下は講義の中で、冗談、雑談を沢山喋ります。興味を持って勉強すれば自然と知識も定着します。**勉強を進めると最初の壁は専門用語と数字です。**社労士試験は日本語の言葉の試験です。推定、みなし、認可、許可等。初学者はここで??です。私達が使っている日本語（当たり前）ですが、法律の世界では独特な意味があります。また、専門用語が各科目ご洪水のごとく噴出してきます。どんどん出てきます。傷病手当（雇用保険）傷病手当金（健保）算定基礎期間（雇用保険）算定基礎届（健保）・・・もういや！助けて！（助けられません。）

■初学者の勉強の進め方

労働基準法で、条文に慣れましょう。身近な法令なので勉強しやすい。労基法⇒労働安全衛生法⇒労災保険法と授業が進みます。この労災保険法で保険の仕組みを学習します。社労士試験の合格は**保険科目で決まります**。保険科目には共通の学習方法があります。労災保険を学習するとその後の雇用保険、健康保険、国民年金、厚生年金保険法で似たような内容が出てきます。保険科目は民間の保険と考え方は同じです。一般的な生命保険でも誰がいくら保険料を払い万一の事故の場合いくら出るかが保険ですね。基本的には公的保険も同じですが、強制保険という点が民間と大きく異なります。

- 1.保険科目であれば誰が（政府等の保険者）が行い
- 2.何処が（適用事業所等）届出を出すのか。
- 3.どんなとき（保険事故）

- 4.いくら（給付内容）支給されるのか。
- 5.どんな場合は出さないのか（支給停止）
- 6.保険料はいくらか（保険料）
- 7.公費は入っているのか（国庫負担）
- 8.保険の決まり事（通則）
- 9.何時までに（時効）
- 10 問題があれば（不服申立）

保険科目には 1～10 の大きな流れがあります。おおまかに流れと用語を掴めば全体が理解できます。暗記はその後から行います。

★初めての方への質問

- ・試験科目の配点を確認しましたか？年金科目の配点は？
- ・1年で合格するという意気込みがありますか？
- ・長期のスケジュールが組み立てられますか？
- ・仕事と勉強の両立は可能ですか？

① 心構え・・・受験生になりきること。試験に出る個所を勉強する

試験科目全体の法律の量は膨大です。本気にならないと合格できません。難解な個所は無視します。合格できるだけの知識を確実に身に付けましょう。これが短期合格の方法です。試験で問われているポイントに絞りを勉強しましょう。

② 相手を知る・・・過去問を徹底して解く

今年の本試験も分析すると過去問がたくさんです。徹底した過去問学習が必要です。

③ 合格への条件・・・自己管理能力

一番大事なのは「自己管理能力」です。今年絶対合格するという気持ちで学習しましょう。最初から全てを理解し、記憶することは必要ありません。まずは、法律用語等に慣れることです。繰り返し最初はテキストを読むことから始めましょう。多少の疑問点があっても先に進むことです。受験勉強をする途中で受験生は立派に成長していきます。

④ 弱気は厳禁。絶対合格の4文字だけに

時間が無い・業務が忙しい・年だから暗記が苦手・勉強の場所が無い・今年は練習・知識を学べれば十分・私には無理等は禁句です。マイナスの発想はマイナスです。限られた時間を有効に活用して、毎日1時間でも継続して学習を行うことが大切です。

■再受講生の方

■再受験生

再受講生は点数が伸びなかった原因を自己分析しましょう。どの科目が弱いのか。なにが理解できていないのか。しっかりと検証してください。そして「**自分の課題**」を出してください。例えば、問題演習の時間が足りない。あるいは特定の科目が苦手等。

★前回の自己分析をはっきりと行い、時間をかけて確実な合格するための学習を早期に立ち上げましょう。

- ①今年の試験を検証したか。
- ②次回の試験の対策は
- ③得意な科目と苦手な科目

★試験は運もある

試験は運もありますが、運は自分で作る。運は自分で運ぶ。この試験は努力すれば合格できます。その努力の中身がポイントです。**過去問の基本事項**がいかに鍵をにぎるのか見えて来ます。講義中に私はあえてここは捨てるといっています。でもほんとかな？と感じる受講生もいます。この割り切りが**47点突破のポイント**でしょう。「**あやふやな100の知識より完全な50の知識で合格**」だと叫ぶのは、試験傾向がそうなっているからです。

- ① 再受講生は毎日毎日問題を解く。今日からです。受験は始まっています。いきなり問題に入りましょう。とにかく約1年かけて問題を解きまわります。過去問、前年の答案練習などやることはいっぱいです。

1日×4問×30日⇒120問×8月(来年5月まで)⇒960⇒約1000(これで絶対に択一は合格します!!!)

- ② 苦手な箇所は早々に勉強を開始する。11月、12月の山下クラスのカリキュラムはゆっくり進みます。時間の余裕がある11月12月で、苦手な科目(特に労働一般常識の法律科目)の勉強を始めましょう。

- ③ 受験を決めた以上最初の目的を見失わないこと。

再受講生の方はモチベーション管理が大事です。再受講生のなかには複数回の受講生の方もいるでしょう。**今年の勉強量の1.5倍勉強**しましょう。前回勉強した知識や経験を無駄にしてはなりません。前回の受験をしっかりと検証し、反省の上でやるべきことをしっかりと決めましょう。

★また合格への登山が始まります。

前回の本試験ではある程度点数が取れた。まあ-直前期になってから頑張ればなんとかなるだろうでは、再びその時期での時間が足らなくなる可能性があります。再受講生は落ち込む時間はありません。数点で不合格者はたくさんいます。そういう試験です。また登山が始まります。私と一緒に登りましょう。

■初学者・再受講生

受講生へのお願い

- ① 問題の解きっぱなしはダメ。
問題の解きっぱなしはダメです。問題を解くときに、どこが誤りなのか。正解はこれだ。とコメントを入れましょう。それと解いた日月を問題文の横に記載しましょう。
- ② テキストに無意味に色は付けない。過去問で間違えた箇所のみ色をつける。（今回一部講義では私が色付けを指摘します）
- ③ 多少の疑問点があっても先に進むこと。

■通信の受講生

教室で収録した講義がそのまま自宅に届くと思います。通信生の勉強は自己管理が絶対です。画面の奥から山下が指導します。私と一緒に勉強しましょう。

■中上級の11月の学習

労基法解き方講座①②で10年間の出題傾向をしっかりと検証しましょう。

11月の講義はゆっくりと進みます。皆さんへのお願いです。労基法を基本にして、労働関連科目の学習をしましょう。労働一般常識対策として、労働契約法、労働組合法、最低賃金法、育児介護休業法を労基法と同時に勉強しましょう。問題演習中心に勉強しましょう。労基法と労働契約法の判例を労基法学習と並行して学習してください。

★月別の学習計画

山下クラスの日程を作成しています。参考にしてください。

★中上級（平日）11月予定

11月	曜日	講義 科目	勉強のポイント
1日	水		まずは10年分問題を解きましょう。総則
2日	木		労基 解雇 賃金
3日	金祭日	休日	
4日	土		労基 労働時間 年次有給休暇
5日	日		労基 就業規則
6日	月	労基法 解き方①	
7日	火	労基法 解き方②	
8日	水		解き方復習
9日	木		解き方復習
10日	金	休日	
11日	土		解き方復習
12日	日		解き方復習
13日	月	労基法①	
14日	火		テキスト読み込み
15日	水		テキスト読み込み
16日	木		問題集
17日	金		労働契約法
18日	土		労働契約法（判例）
19日	日		問題集
20日	月	労基法②	
21日	火		テキスト読み込み
22日	水		テキスト読み込み
23日	木祭日		問題集
24日	金		労働組合法
25日	土		労働組合法
26日	日		問題集
27日	月	労基法③	
28日	火		テキスト読み込み
29日	水		テキスト読み込み
30日	木		問題集

★中上級（休日クラス）11月予定

11月	曜日	講義 科目	勉強のポイント
1日	水		
2日	木		
3日	金祭日	休日	
4日	土	休日	
5日	日	労基法解き方①②	
6日	月		解き方復習
7日	火		解き方復習
8日	水	休日	
9日	木		解き方復習
10日	金		解き方復習
11日	土		労基予習
12日	日	労基法①②	
13日	月		テキスト読み込み
14日	火		テキスト読み込み
15日	水		問題集
16日	木		労働契約法
17日	金		労働契約法
18日	土		労働契約法（判例）
19日	日	労基法③④	
20日	月		テキスト読み込み
21日	火		テキスト読み込み
22日	水		問題集
23日	木祭日	休日	
24日	金		労働組合法
25日	土		労働組合法（判例）
26日	日	労安法解き方	
27日	月		解き方復習
28日	火		解き方復習
29日	水	予備	
30日	木	予備	

■合格講座（土曜クラス）11月予定

11月	曜日	講義 科目	勉強のポイント
1日	水		トリセツで労基復習
2日	木		トリセツで労基復習
3日	金祭日	休日	
4日	土		
5日	日		
6日	月		トリセツで労基復習
7日	火		トリセツで労基復習
8日	水		
9日	木		労基予習 総則 解雇
10日	金		労基予習 賃金
11日	土	労基法①②	
12日	日		テキスト読み込み
13日	月		テキスト読み込み
14日	火		テキスト読み込み
15日	水		問題集
16日	木		問題集
17日	金		問題集
18日	土	労基法③④	
19日	日		テキスト読み込み
20日	月		テキスト読み込み
21日	火		テキスト読み込み
22日	水		問題集
23日	木祭日		問題集
24日	金		問題集
25日	土	労基法⑤⑥	
26日	日		テキスト読み込み
27日	月		テキスト読み込み
28日	火		テキスト読み込み
29日	水		問題集
30日	木		問題集